

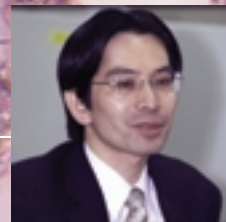
翼システムはRadwareで マルチホーミングネットワークを構築

自動車業界をはじめ旅行・機械工具・文具事務機等、各業界向けの業務用アプリケーション開発・販売や、「カーコンビニ倶楽部」に代表されるニュービジネス・集客支援・経営コンサルティングなどのソリューションを提供し続けている先進企業、翼システムでは、社内のデータセンターにRadwareの「LinkProof」を導入し、マルチホーミングネットワークを構築している。

LinkProofは、世界で最初にインターネット接続回線の多重化を可能にするインターネット・リンク用として発売されたレイヤー7スイッチであり、インプリメンテーションや運用管理が容易に行えることも魅力の製品だ。



カーコンビニ倶楽部



翼システム株式会社
ネットビジネス事業部
情報システム部
情報システム課
課長 堀井 泰博 氏



翼システム株式会社
ネットビジネス事業部
情報システム部
情報システム課
係長 濱口 ささら 氏

システムの可用性を高めるために 考えなければならないこと

システムの高可用性や高信用性を実現するためのソリューションとして、サーバ負荷分散装置を使用する方法や、クラスタリング技術を使用する方法等が知られている。これらの方法はどちらにせよ、システム内のサーバに障害が発生した場合でも他のサーバがその機能を引き継ぐため、システムの可用性は高い。「ミッションクリティカル」が求められているシステムの管理者であれば、きつとどちらかの方法を選択していることだろう。

しかし、これで安心してはいけぬ。これらの方法は、ISPが障害に陥った場合にはまったく対応できないからである。いくらサーバが利用できる状態にあっても、インターネットに接続できなければ、サービスは提供できないのである。



可用性を追求する時、 真っ先に検討すべきはISPの多重化

「およそ4年前、LinkProofを導入する前にISPのサービスが最大半日もの間、停まってしまったことがあった。

ISPが障害を起こすことを想定していなかったし、その障害がいつ復旧するかがまったくわからなかったので、パニックに陥ってしまった」（翼システム株式会社 ネットビジネス事業部 情報システム部 情報システム課 課長 堀井 泰博 氏）。

翼システムでは、当時既にサーバをクラスタリングすることで高可用性を追求していた。しかしその苦勞は、ISPの障害に直面した時にはまったく報われることがなかったのだ。

「クラスタリングとかバックアップとかを一生懸命やっている場合ではない。まず最初に取り組むべきはISPの多重化だと思い知らされた」（堀井氏）。

とはいうものの、4年前の時点では「ISPの多重化」ということを考える企業は少なく、またそれに対応する製品も市場にはほとんど存在していなかった。

手探りで製品を探している時に、ようやく出会ったのが発売されたばかりのLinkProofだったという。

導入後ふたたびISPのトラブル。 LinkProofの実力が高く評価される

テストを繰り返しながら機能を調整し、ようやくLinkProofが稼働し始めた頃、再び事件は起こった。

「メインのISPに障害が起こり、同じISPを利用していた企業はまったくインターネットへアクセスできない状況だった。しかし、そんな中でも当社だけはLinkProofが自動的にもう一社のISPに接続を切り替えてくれたおかげで、何事もなかったかのようにアクセスすることが可能だった」（堀井氏）。裏面につづく

表面より

最近ではISP側も時代のニーズを受け、障害の発生防止に積極的に取り組んでいるということであるが、実際には障害がまったく無くなっているわけではないのだ。

「当社では何社かのISPと契約しているが、それぞれのISPから今でも障害発生報告を受けている。

そしてその数は1年というスパンの中で考えるとかなり多い」(堀井氏)。

LinkProofの提供する機能は豊富だが、ISPの障害発生によるサービスダウンを完全に回避させた実績は非常に大きく、製品の実力と完成度が改めて認識されることとなり、以降2台目、3台目の導入が決定していった。

LinkProofならではの機能がさまざまなメリットを生み出す

LinkProofが導入された理由は、ISPの多重化すなわち「マルチホーミングを可能にする」ということだけではなかった。ラドウェアだけの「近接性検知」という機能も大きなポイントだったという。LinkProofは要求のあったサイトへの近接性をチェックすると同時に、マルチホーミングされている回線の中からより高速にデータ転送できる回線を選択する。「高価な専用線を接続するよりも、比較的安価な回線をたくさん接続する方がエンドユーザー側のレスポンスもいい。当社としても接続コストを抑えられるというメリットがある」(堀井氏)。

サポートがしっかりしていたことも、導入を決めた理由の一つだ。現在市販されているサーバ関連製品は外国製のものも多く、メーカーとやりとりをしようにもスムーズにいかないケースが決して少なくない。製品の不具合をメーカーに報告しても「なしのつぶて」という話もよく耳にする。「ラドウェアさんには、当社専用のスペシャルパッチを提供していただいたこともあった」(堀井氏)。

ラドウェアのこうしたきめの細かいサービスも、システムの可用性を支えるポイントといえるのではないだろうか。

インプリメンテーションや運用管理の容易性も魅力

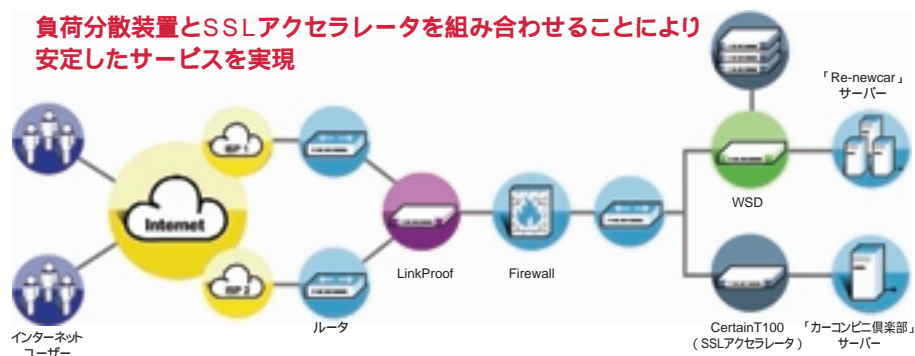
LinkProofを導入してから気付いたメリットもいくつかあった。

「回線の増強などでどうしても通信が行えない時があります。そんな時でもLinkProofを使用していれば安心ですね。ルータ等のメンテナンスをいつでも自由に行えるのもいい」

(翼システム株式会社 ネットビジネス事業部 情報システム部 情報システム課 係長 濱口 ささら氏)。

インプリメンテーションの容易性もメリットだ。特別な技術者に来てもらわなくても、自分たちだけで作業が行えてしまうという。もちろん今日までノントラブルで長期使用に対応できているという実績も大きい。

負荷分散装置とSSLアクセラレータを組み合わせることにより安定したサービスを実現



翼システムでは「カーコンビニ倶楽部」や「ヤマト車検」等自社関連のサイトはもちろん、一般の商用サイトを社内のデータセンター内に収容。LinkProofによってアクセスリンクの回線増と広帯域化を実現している。WSD(Web Server Director)によるサーバの負荷分散はもちろん、エンドユーザからの問い合わせフォーム等にSSLを使用しているためCertaint100でSSLのアクセラレーションも実施。高速かつミッションクリティカルなサービスを行っている。ラドウェア製品はどの製品も管理画面のインターフェイスが同じなので、操作の習得に時間を割く必要がないこともメリットだ。

また、翼システムでは「カーコンビニ倶楽部」に続いて「リニューカー」事業のチェーン展開も開始、Radware製品は、拡張し続けるサービスを常に最適に、高い信頼性とパフォーマンスを維持して支えつづけている。

リニューカーとは、クルマを次々と買い替えるのではなく、気分や予算に応じて愛車を個性的な自分だけの車にしたり、保安基準をクリアした車両保証付きリニューカーを購入することで、「1台のクルマに長く乗る」という新しい発想。翼システムではこのコンセプトに基き、リニューカーの製作チャンネルおよび販売チャンネルのチェーン展開を開始している。イメージキャラクターには、「デビッド・ベッカム」選手を起用。今後の躍進が注目されている。

<http://www.renewcar.jp/>

お問い合わせ先



丸紅ソリューション株式会社



ITソリューション事業部

SI部 営業一課

〒150-0011 東京都渋谷区渋谷東1-26-20
TEL: 03-5778-8611 FAX: 03-5778-8609
E-mail: radware@msol.co.jp
URL: <http://www.msol.co.jp/>



日本ラドウェア株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-9-8
マトリクス・ワンビル3F
TEL: 03-5774-4881 FAX: 03-3499-3278
E-mail: info@radware.co.jp
URL: <http://www.radware.co.jp/>

